

# どんど焼きに集合

どんど焼きとは

起源は鎌倉時代から平安時代に始まり、現在も牛頸地区においても欠かすことなく続いているものであります。

その概要は1月14日の夜又は1月15日の朝に刈り取り跡の田などに長い竹を3～4本組んで立てそこにその年飾った門松や注連縄かざり、書初め書いた物を持ち寄って焼く、その炎で焼いた餅を食べる、又注連縄飾りなどの灰を持ち帰り自宅の周囲にまくとその年の病を除くといわれています。

又書初めで書いた書を焼いたとき炎が高く上がると字が上達されるとも言われ道祖神の祭りとされています。

どうか皆様も下記日時場所で経験しては如何ですか。

門松や、注連縄飾りなどで出迎えた祭神をそれらを焼くことによって炎と共に見送る意味があるとされています。

青竹を燃やす時に爆せる（どんどを爆竹）ところからつけられた名前と思いません。

## 記

日 時 平成24年1月15日（日） 開始時間 14時より

場 所 平野台入口信号より牛頸ダム方へ200m、山上邸前の田

会場場所は地図のとおりです

